

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Yくまーず未来Kazaoka津島					公表日		R7 年 11月 30日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点					
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	0	十分に広いスペースがあります。						
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	12	0	人員基準以上の配置になっています。						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	0	スケジュールボードや写真カードを活用し、視覚的に理解しやすい情報提示を行っています。また、必要に応じて個々の理解度や特性に合わせた視覚化支援も行い、安心して活動に取り組めるよう工夫しています。						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	0	安全確認を含めた環境設定を行い、全室の清掃消毒を毎日実施しています。活動内容に合わせて使用する部屋を変え、取り組みやすいコーナーづくりや配置を工夫し楽しく安心して過ごせる環境づくりに努めています。	子どもたちが清掃活動を通して、自主的に片付けや整理整頓の力を身につけられるよう、今後は清掃や環境整備に関する取り組みをさらに充実させていきたいです。					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	0	相談室を個別対応の部屋としても活用し、児童が安心して過ごせる空間として使用しています。必要に応じて、落ち着いた話をしたり、個別支援を行える環境を整えています。						
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12	0	職員全員が目標設定や振り返りの場に参加し、意見を出し合いながら業務改善に取り組んでいます。	今後の課題としては、忙しさの中でも一人ひとりが主体的に意見を出し合えるよう、話し合いの時間や共有の方法を工夫していくことです。					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	自己評価表や計画更新時にアンケートを実施し、保護者の意向を把握し、それを基に業務の改善に取り組んでいます。	アンケートで保護者の意向を把握していますが、すべての改善に十分反映できているわけではないため、今後はより幅広く改善していくことが課題です。					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0							
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	4							
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0	法人内・事業所内・外部などの研修に参加しています。	職員が研修参加や自己啓発に積極的に取り組めるよう、継続的な学びの機会を確保してまいります。					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0	自社HpやInstagramにて公表しています。						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	0							
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0							
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0							
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	0							
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0							
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	0	職員間で子どもたちに必要な活動案を検討・意見交換したうえで、最終的な決定はチームリーダーと児発管がまとめて行っている。						
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	活動プログラムが固定化しないよう、児童の興味や状態に応じて内容や順番を調整し、柔軟に取り組めるよう工夫しています。	曜日固定の活動もありますが、児童一人ひとりが幅広い活動を経験できるよう、今後はプログラム内容の工夫・改善に努めてまいります。					

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	1	支援開始前には、必ず業務内容の確認や情報共有、支援内容の確認を行っております。	対応策や具体例を交えて職員全員で話し合えると、より分かりやすく実践につながると考えています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	0		話しやすい雰囲気の中で、対応に困ったことや気になったことを職員が自由に話し合い、チームで考えていくことで、よりより支援につながれる体制を、さらに整えていきたいと考えています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	12	0		
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12	0	スケジュールや活動、遊びなどの選択肢を用意し、子ども自身が選び決定できる仕組みを作っています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0	・児童発達支援管理責任者が主に参加しているが、可能なら現場リーダーのスタッフも同行して会議に参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	1	利用者様の状況に応じて、園の先生や学校の先生方、相談員、訪問看護等と情報共有を行いながら、支援を進めております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	2	相談支援員の方を間に入れて情報共有に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	2	児童発達支援センターではありませんが、地域の他事業所を見学したり、交流の機会を設けたりして学びを深めています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	7		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	9		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	5	特にご相談でお願いいただいた際や、個別面談の際には、情報提供や支援内容についてお話ししております。今後もお声がけいただければ、随時対応させていただきます。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12	0	夏祭りやハロウィン、クリスマスなどの保護者参加型イベントを通して、保護者やご兄弟にもご参加いただき、一緒に楽しみながら交流できる場を設けております。	現在は保護者会の実施はございませんが、今後、開催を検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	9	季節のイベントでご兄弟の参加やボランティアの導入をしています。	地域の方にも参加できるイベントを今後企画していきたいと考えております。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	0	マニュアルは玄関に掲示し、職員・児童ともに定期的な避難訓練や安全指導に取り組んでおります。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	1	職員とともに内容の見直しや改善を行い、定期的な訓練を実施しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	1	医師からの指示書はありませんが、アレルギーを持つ利用者様については事業所で把握し、職員間で情報を共有して対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策を検討しています。	今後は、職員一人ひとりがより細やかな気づきを持ち、自身の振り返りにもつなげながら、事故やトラブルの防止に努めていきたいと考えています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0	毎月、虐待予防チェックリストを実施し、職員一人ひとりが支援の見直しや意識の点検を行い、虐待予防につなげています。	職員のストレスチェックやヒアリングを定期的に実施し、心理的安全性の確保とメンタルヘルスの維持に努め、個々の状況に応じたサポート体制のさらなる充実や、日常的に相談しやすい環境づくりを強化していくことが課題です。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12	0		